



笠間市

広

報

かさま

平成19年4月12日発行 笠間市市長公室秘書課
〒309-1792 茨城県笠間市中央3-2-1 ☎0296-77-1101 FAX0296-78-0612
URL <http://www.city.kasama.lg.jp/> E-mail info@city.kasama.lg.jp

岩間体験学習館

春を満喫



CONTENTS

施政方針・・・・・・・・・・・・・2	健康ホットライン/かさま食彩・・19
平成19年度予算・・・・・・・・・・10	こうみんかん・・・・・・・・・・・・・20
人事/市長室・・・・・・・・・・・・・12	としょかん・・・・・・・・・・・・・21
情報カレンダー・・・・・・・・・・・・・13	まちづくり教室/
市民活動の支援・・・・・・・・・・・・・15	広報ギャラリー・・・・・・・・・・・・・22
まちの話題・・・・・・・・・・・・・16	市民力・・・・・・・・・・・・・23
友部駅・笠間駅/	情報コーナー・・・・・・・・・・・・・24
行財政改革答申・・・・・・・・・・・・・18	かさま探訪・・・・・・・・・・・・・26

4 2007
April

Vol.13



平成19年度当初予算並びにその他の議案を提出するに当たり、市政運営の基本方針と主要な施策の概要を申し述べ、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

笠間市は、地方分権時代に対応できるよう、より自立した地方自治体としての

平成19年度施政方針

〈3月5日、笠間市議会定例会より〉

めることによつて、スリムで機動性に富んだ市の組織を構築し、自立した自治体を築いていくため、今後5年間の行財政改革の指針となる「行財政改革大綱」と具体的な改革の内容及びスケジュールを明らかにする「実施計画」を策定いたします。

行政運営と財政基盤の強化を目指して、昨年3月に合併し、新市として2年目を迎えるようしております。この間、三市町がそれぞれ培ってきた地域の特性を生かし、合併の効果を発揮できるよう、また、新市の均衡ある発展や一体感の醸成に努めてまいりました。

合併により、各種料金や制度の見直し廃止等で、市民の皆様にはご負担をおかけしていることと思いますが、新市としての統一性を期するため、今後も水道使用料や保育料等の統一に早急に取り組んでまいります。

合併は、行政のすべての見直しを行い、行財政改革による効率化を図り、新しい時代に対応できる行財政基盤の強化が大きな目的であります。そのため、私は、「行政改革推進室」を設置し、全庁的に行財政改革の断行を進めてまいりました。そして、さらに踏み込

んだ行財政改革を着実に進

また、総合計画につきましても、笠間市のまちづくりの総合的指針とするため、基本構想の18年度策定を目指して取り組んでいるところであります。策定に当たりましては、5,000件の市民アンケートや各地区で実施した市政懇談会、各種団体の提案書等を通して市民の意見把握に努め、また、庁内組織の総合計画策定委員会や専門部会、さらに、総合計画審議会での審議を進めてまいりました。

その結果、取りまとめまいりました基本構想につきましては、本定例会に議案として上程しているところでございますが、今後は基本構想に掲げてありますように、「みんなで創る 文化交流都市」を目指して、6つの施策大綱の下、「市民と行政の連携と協働」によるまちづくりを推進してまいります。

情報公開につきましては、引き続き市長交際費をはじめ市のあらゆる情報について、ホームページ等で積極的に公開してまいります。また、パブリック・コメント手続制度を活用し、市の基本的な施策等の策定に当たっては、その目的、内容等を広く公表し、それに対する市民のご意見等を考慮して意思決定を行います。

さらに、市の方針がどういう意思決定を経て決められたのか、政策決定の経過も公開してまいります。

また、監査機能の充実を図るため、監査委員の定数を1人増加する条例改正議案と、18年度に引き続き市長給与を20パーセント減額する条例改正議案を定例会に提案しております。

主要な施策の概要(抜粋)

1. 都市基盤の整備

高速道路の整備については、北関東自動車道の友部インターチェンジから笠間インターチェンジ(仮称)までの区間9.2キロメートルについて、本年秋の供用開始が予定されており、現在、上加賀田地域に舗装プラントを建設し、全線舗装工事に着手しています。

国道50号線については、金井交差点から才木までの区間について、19年度に4車線化の供用が図られ、さらに石井地内の4車線化についても促進を図っていきます。また、国道355号笠間バイパスについては、市道来栖飯合線から大和田甲の山線までの660メートルの区間について本年3月下旬に開通する予定です。今後とも、国・県に対し整備促進についての積極的な働きかけを行っていきます。

市の一体化を促進する幹線道路の整備については、南友部平町線、旧畜産試験場から岩間支所に向かう市道(友1級12号線など)12路線について合併特例債を活用して整備することとしており、用地の取得、工事の推進を図っていきます。特に、南友部平町線は、笠間地区市街地から友部環状道路やJR友部駅北口を結ぶ幹線道路として重要な路線であり、友部駅周辺に集中している交通を分散・導入し、市街地の交通渋滞の緩和と歩行者へ

の安全確保を図るものであります。また、上町大沢線は、国道355号とあいまって笠間地区市街地と友部地区市街地を結ぶとともに、北関東自動車道友部インターチェンジに直接連結する路線であるため、市の一体化と振興に不可欠な路線であります。

昨年実施した市政懇談会において要望が多かったのは生活道路の整備であります。この整備状況はまだまだ不十分であると考えていますので、交通危険箇所や緊急性の高い路線を最優先に整備を実施し、安全安心なまちづくりを目指していきます。

友部駅の橋上化及び南北自由通路の整備については、3月4日に供用開始をしました。この供用に伴い、駅利用者の利便性の向上はもとより、駅の南北両地域の活性化に資するとともに、笠間市の新しい顔として交流が拡大し、地域の振興が図られるものと期待しています。なお、引き続き、北口広場や駅北線などの整備を進めるとともに、岩間駅の橋上駅舎及び自由通路の整備についても実施計画を行い、逐次進めていきます。

河川の整備については、市内の中央部を流下する涸沼川の改修について、JR水戸線から笠間大橋までの区間の整備が進み、また、昨年度から掛替工事を行っている笠間大橋は、市のシンボリックな橋として20年度の完成を目指して事業を進めています。なお、未改修の下流部の事業化についても、流域市町と協力しながら県に対し早期事業着手を要望するとともに、市街地の排水対策についても実態に沿った適切な対応を行っていきます。



JR友部駅に完成した南北自由通路



本年秋開通予定の北関東自動車道友部IC・笠間IC区間

2. 産業の振興

近年の社会経済状況の変化に伴い、余暇時間の増大や自然志向、食の安全など、生活の質に対するニーズが高まる中、グリーンツーリズムへの関心が高まっています。また、グリーントーリズムへの関心が高まっています。こうした中、笠間クラインガルテンについては、指定管理者制度の導入によって民間的感覚を持った効率的な管理運営を行っていきます。

多くの園芸作物が栽培され、庭先販売農家が点在する愛宕山周辺地域においては、あたご天狗の森スカイロッジを基点とした農業体験や都市住民との交流事業等を行い、地域の活性化と農業の振興に努めていきます。

また、農業の持続的な発展と振興の指針となる農林業振興基本計画を19年度に策定します。さらに、担い手となる認定農業者の育成や集落営農組織づくり、安全安心な農産物による地産地消の推進、今年度のブランド米「かさまの粋」をはじめとする農産物のブランド化や販路の拡大に努めていきます。

イノシシなどによる農産物被害に対しては、茨城・栃木両県12市町で構成する茨城・栃木県境地域鳥獣害防止広域対策協議会が設立され、19年度からは、一斉駆除、生態や被害発生等の情報の共有、防護柵等の導入に力を入れていきます。

農地・農業用施設は、過疎化や高齢化等によって適切な保全・管理が困難になってきています。そのため、19年度から5年間で、小原・押辺地区など6地区、250畝の農地・水・環境保全向上対策事業

に取り組んでいきます。また、大淵地区と友部地区の経営体育成基盤整備事業によって、担い手の人数や経営耕地面積シエアを増加させるための所有権移転や利用権の設定、基幹作業の受委託を行っていきます。

「いこいの家」はなさか」に隣接する「生き活き菜園はなさか」の開園により、一般市民を対象とした日帰り型の市民農園を運営していきます。

今年100回目を迎える「菊まつり」を「笠間の菊まつり」に名称変更し、市全体のイベントへの転換を検討しながら、官民一体となって実施していきます。また、本市の観光について、イベント型観光から通年型観光への転換を目指し、学びや体験、そして心の安らぎや癒しを与える観光に取り組んでいきます。

佐白山周辺整備事業については、佐白山麓公園を中心とした拠点整備を実施し、芸術の森公園との連携及び機能の分担を考慮していきます。また、点在する歴史資源や観光資源のネットワーク化を図り、回遊性の向上につなげていきます。

観光周遊バスについては、観光施設の回遊性強化のため、関係団体で負担金等の見直しを検討してきましたが、今後は、商店街等を中心とした新たな協賛金の加入促進を図るとともに、運行経路拡大のための停留所の増設や利用者の有料化も検討していきます。また、日本宝くじ協会の助成事業を活用して新規バスを購入し、20年度の運行を目指していきます。

商業の振興については、笠間稲荷門前通り商店街など三つの商店街で空き店舗実態調査を実施し、ギャラリー等の企画

や地場産材の直売店等としての活用について商店街と協働で取り組んでいきます。また、三つの商工会については、茨城県商工会連合会と連携し、早期合併に向けて支援を行っていきます。

工業の振興については、常磐自動車道の友部スマートインターチェンジの設置を契機に、茨城中央工業団地の未利用地を中心とした企業誘致を進めていきます。

地場産業の振興については、御影石の公共事業への活用、「いばらきストーンフェスティバル」や「いなだストーンエキシビジョン」の支援など、御影石のPRとブランド化に向けて推進していきます。笠間焼については、陶炎祭、匠のまつりなどにおける需要の開拓や販路拡大、産地交流の振興、さらに桃宴の拡大支援など、そのPRに努めていきます。



4月に開園した生き活き菜園はなさか

3. 保健・福祉の充実

地域の健康づくりについては、生活習慣病対策が重要な課題となつてきているため、新たに壮年期からの健康づくりを推進していきます。具体的には、笠間地区・友部地区・岩間地区の3か所の公的施設を活用して、健康運動指導士を中心に、ストレッチ系・エアロビックダンス系を取り入れ、各地区週1回、40歳以上の方を対象に実施していきます。

地域福祉については、19年度に新たに地域福祉計画を策定し、地域社会を基本とする仕組みづくりやこれらを支える人づくり、活動拠点の場づくりなど、きめ細やかな地域福祉の体制を整え、地域に応じた福祉サービスを展開していきます。

また、社会福祉協議会、ボランティア、NPO、地域の各種団体、民生委員・児童委員などの連携を図りながら、ともに協力し支え合い、助け合う福祉社会づくりに取り組んでいきます。

障害福祉については、自立支援給付事業並びに障害者地域生活支援事業によるサービスに努めていきます。さらに、18年度中に策定した障害福祉計画を基に、自立支援や地域社会での受け入れ体制の充実など、各事業を適切かつ効果的に提供できるよう総合的に実施していきます。

少子化対策については、男女ともに子育てをしながら安心して働くことができ、子育てに喜びを感じることができるよう社会をつくっていくことが重要です。18年度に策定した次世代育成支援行動計画を推進していくため、次世代育成支援

策地域協議会を設置し、必要な措置について協議をしていきます。

そして、次世代育成支援行動計画の目標事業の一つである放課後児童クラブを友部小学校敷地内に建設しました。

3歳児未満の乳幼児に対する児童手当は、法改正によって第1子及び第2子について月5,000円増額し、出生順位にかかわらず一律1万円を支給します。家庭児童相談室については、その相談体制の充実を図るため、19年度から新たに相談用直通電話を設置します。

また、18歳までの子どもとその家族に関する悩みや心配ごと、夫や恋人などからの暴力被害(DV)について、家庭相談員2人が問題解決のお手伝いをします。

本年11月、茨城県内で「ねりんピック茨城2007」が開催され、笠間市ではペタンクと囲碁の交流大会が行われました。この催しは高齢者を対象としたスポーツ・文化交流の全国健康福祉祭ですが、市のPR及び2種目の大会の成功に向け、事業の推進を図っていきます。

また、介護予防の一環として、高齢者クラブや地域事業にシルバリーハビリティ操を取り入れていただき、各地区でボランティア活動をしているリハビリ体操指導士の協力を得ながら、高齢者のリハビリ体操の普及活動を展開していきます。

笠間地区で運行されてきた福祉バスは、市民の一体性・公平性の観点から、早期に市全域に広げる必要があります。そのため、ドアからドアの送迎を可能にするデマンド交通システムを取り入れ、本年秋を目指した新交通システムの運用を進めていきます。



友部小学校敷地内に完成した放課後児童クラブ



子育てと保護者の交流の場として人気が高い子育てサロン

4. 生活環境の整備

新しいまちづくりを進めるために総合計画を策定しますが、この総合計画を踏まえて、「文化交流都市」を実現するため、19年度から20年度に、将来の目指すべき都市像や土地利用などの基本的な指針を定める「都市計画マスタープラン」を策定します。本計画は、概ね20年後を見据えたまちづくりの基本方針を定めるもので、土地利用に関するアンケート調査や地域懇談会等を通じ、地域の特性を踏まえて策定していきます。

また、JR友部駅南口周辺を交流拠点と位置づけ、16年度から「まちづくり交付金事業」による橋上駅・南北自由通路の整備に着手してきましたが、友部駅南口



活性化が望まれるJR友部駅南口

周辺の人口の減少、商業の衰退が顕在化し、空き地や空き店舗が目立ってきたため、「まちの顔」としてふさわしい賑わいのある市街地形成が必要となつていきます。そのため、「友部駅南口まちづくり推進事業」による駅前の活性化に向けて、地区懇談会等を通じ、市民との協働によるまちづくりを進めていきます。

岩間駅東土地区画整理事業は、18年度のまちづくり交付金事業によつて駅の機能強化や駅東口広場、街路整備を一体的に整備し、関連する駅周辺及び駅東地区の市街地の活性化を図るものです。この事業により、未利用地の都市的土地利用への転換を効率的に促進し、新笠間市の中心市街地の一つとして秩序ある市街地の形成が図られます。

環境基本計画については、19年度に、



団員の規律と技術を競う消防団操法大会

市民や事業者の皆様からご意見・ご提案をいただき、将来に向けて望ましい「笠間市の環境像」を設定し、その実現に向けた行動計画等を策定していきます。

「エコフロンティアかさま」については、今後とも地元との地域振興並びに環境保全等の締結に向け、引き続き地域の皆様との合意形成に努めるとともに、さらなる安全を第一に考えた運営管理を促進していきます。

消防団の皆様には、災害に強い安全安心なまちをつくるために、ご尽力いただいています。耐用年数を超えて老朽化の著しい消防ポンプ車両については、計画的に更新していますが、19年度は、友部地区・岩間地区において更新をしていきます。また、老朽化と狭小で不便をきたしている消防団機械器具置場並びに詰所については、笠間地区・友部地区での建設を予定しており、機動力の向上を図っていきます。

国民保護法に基づく国民保護計画は18年度に計画策定が完了し、19年度は避難実施要領パターンや市民向けのパンフレットを作成し周知を図っていきます。

また、安全安心なまちづくりの指針となる地域防災計画を19年度中に策定し、関連する防災アセスメント調査や住民用防災のしおりなどを作成していきます。

交通事故に対して見舞金を支給する県民交通災害共済制度については、18年度に小中学生の加入額の半額にあたる250円を補助しましたが、19年度は小中学生約7,000人に対して加入費の全額補助を行います。

上水道事業については、旧市町の事業

をそのまま継承し3事業で経営していますが、経営の安定や安全・快適な水の確保・供給、さらに災害時等の安定供給を図るため、3事業全体の見直しを行い、事業統合を前提とした「水道事業基本計画」を策定していきます。

また、工業用水道事業については、岩間工業団地内企業3社に供給しており、今後とも安定供給に努めていきます。

公共下水道事業については、本市の全体計画面積2,813haのうち、1,137haで供用を開始しています。そのうち水洗化率は約72%であり、また排水設備を行っていない方々につきましては、速やかに接続されるよう推進していきます。また、19年度工事については、管渠布設工事や浄化センター等の増設工事を5か年で整備するための債務負担行為を提出しました。

農業集落排水事業については、枝折川地区及び岩間南部地区で処理場が完成し、19年度はその外構工事等を行い、今秋には両地区ともに供用開始を予定しており、各地区で説明会を実施していきます。

また、未整備地区における市民ニーズに対応するため、浄化槽の設置を推進するとともに、設置者に対し補助金を交付して住民負担を軽減し、併せて公共用水域の水質保全と生活環境の改善に努めていきます。

なお、公共下水道・農業集落排水施設の使用料及び公共下水道事業受益者負担金の前納報奨金の統一については、本年2月の下水道審議会の答申を受け、1年程度の周知期間を設けて市民の理解を求めていきます。

5. 教育・文化の充実

学校教育については、児童・生徒の学力と学習意欲の向上に努めるとともに、各学校が特色ある活動を推進していくため、各校独自の事業計画を立てて事業を展開する「特色ある学校づくり事業」をすべての小中学校で実施していきます。

また、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、「公立学校施設整備耐震化事業計画」に沿った改修等を推進していきます。19年度は、友部中学校舎改築工事をはじめ、20年度に予定している岩間中学校舎改築工事のための地質調査や実施設計を行うとともに、友部・岩間地区の小中学校トイレ洋式化工事等を進めていきます。なお、不登校児童・生徒の一時的な教室として、学校への復帰までの心のケアと学習を行う「適応指導教室」を新たに岩間地区に開設します。

自動体外式除細動器(AED)を2か年計画ですべての学校に設置していきます。19年度は、全中学校及び各公民館に設置するとともに、職員への講習を行い、救急体制の整備に努めていきます。

生涯学習については、子どもたちの豊かな心を育むための体験活動事業を実施していくとともに、学校・幼稚園・保育所での家庭教育学級を通して家庭や地域の教育力の向上を図っていきます。また、子どもたちの健やかな活動場所の確保と総合的な放課後対策を行うため、新たに「放課後子供プラン」を策定し、東小学校に「放課後子ども教室」を開設します。

図書館については、生涯学習拠点の充



今年で3回目を迎えたクールシュヴェール国際音楽アカデミー



笠間市から全国に発信する全国高等学校アームレスリング大会

実を図るため、「子ども読書活動推進計画」を策定するとともに、3図書館の利便性とサービスの向上に努めていきます。

公民館については、地域に合った事業計画の下、「いつでも、だれでも」学習できる機会やパソコン講座など要望の多い学習の提供に努めていきます。また、老朽化した岩間公民館や各施設の活用について、委員会を通して検討してまいります。

芸術・文化の振興については、文化財をはじめ生活文化、地域文化を積極的に保護しながら、県から文化財保護主事の派遣を受け、文化財の保護と活用に努めていきます。なお、歴史と文化に育まれた新市の「概説 笠間市史」の発刊に向け、市史編さん事業を実施してまいります。

また、クールシェヴエール国際音楽アカデミー、全国子ども陶芸展、アマチュア陶芸展など国際的・全国的なイベントを開催するほか、芸術文化を創造しながら、20年度に本県で開催される国民文化祭に向けての準備をしてまいります。

スポーツ・レクリエーションについては、全国高校アームレスリング大会や陶芸の里マラソン大会を通して関係団体との連携を深めるとともに、市民が開催する各種スポーツ大会を支援してまいります。

スポーツ施設では、総合公園、市民体育館、岩間海洋センター等における指定管理者制度の導入について、本年秋を目途に進めていきます。

また、生涯スポーツ社会の実現を目指して、地域総合型スポーツクラブの設立や、新たに「スポーツ振興計画」の策定を行ってまいります。

6. 市民協働と行財政の効率化

まちづくり市民活動については、これまで旧三市町で進めてきましたが、昨年3月の合併によってその活動範囲が広域的になり、人材も豊富になったため、市民活動に対する積極的な支援が求められています。

こうした背景から、住民ニーズを生かし、新市における住民参画を一層進めるとともに、市民と行政がそれぞれの役割を分担しながら、協働でまちづくりに取り組んでいきます。また、市民活動を通じて市民の一体感の醸成を図り、早期に合併の効果を出すため、市民活動の必要経費に対する助成制度を創設し、公募により申請を受けて10万円を限度に交付します。

また、市民活動団体の活動内容をまとめたガイドブックを作成して市内の公共施設に置き、市民活動を始めようとしている市民に対して参加のきっかけづくりとPRを行い、活動を推進してまいります。

また、仕事と家庭生活、地域活動、その他の活動との調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進は、多様化した生活や自らの希望に沿って生活できる社会環境づくりを目指すものであり、男女共同参画社会実現のためのキーワードでもあります。このため、雇用の場における男女平等の実現を図っていくために、事業者と市が協定を締結する「男女共同参画推進事業所」の認定及び協定を新たに実施し、市が支援しながら、事業者と協働で積極的な推進を図ってまいります。



人材の育成に不可欠な市職員研修

21年度に行う固定資産評価替の準備業務として、3市町を統一した評価基準書の作成、状況類似地区の見直し並びに地目照合のための航空写真撮影を行っています。

また、国の税源委譲に伴い、従前にも増して自主財源確保の重要性や税負担の公平性を確保する観点から、滞納整理や滞納処分を強化してまいります。平成19年1月末現在の市税の徴収率は76・29パーセントで、滞納額は22億9,665万8千円となっており、差押え件数は32件であります。19年度についても積極的に差押え等を行ってまいります。なお、今後は、「県と市町村の間における人事交流」制度を適用し、徴収分野の対等交流を行い、県税事務所経験職員を納税課に受け入れて収納促進を図ってまいります。さらに、滞納整理に

については、水戸県税事務所との共同滞納整理や茨城租税債権管理機構への事業移管を進めていきます。また、債権回収の幅を広げるため、新たに自動車タイヤロックスを購入して活用していくとともに、納付については金融機関の預貯金口座振替をP・R・推進し、さらにコンビニエンスストアでの市税納付ができるよう納付機会を増やす検討を行い、さらなる徴収率の向上を図っていきます。

また、市の新たな財源を確保し、併せて地元事業所等の有効な広告の機会を確保することによってその育成と活性化を図るため、広報かさま及び笠間市ホームページに有料広告を掲載していきます。そのほか、市の封筒やチラシ、ごみ袋、JR友部駅の南北自由通路など、広告掲載の可能な公共物等を対象に実施していきます。

補助金については、その透明性・公益性等について検討するため、18年度に民間の方々による補助金等検討委員会を設置しました。現在、この委員会において補助金等の交付基準を作成中であり、18年度内に中間答申を受ける予定になっています。19年度については、作成した交付基準によって、すべての補助金に対して補助事業等の内容について評価を行い、その答申結果を基に20年度の交付額を決定していきます。

本市の行財政改革の基本的な考え方と具体的な取り組み内容を示す「行財政改革大綱」と「実施計画」については、行政改革推進委員会の活発なご意見を賜りながら、その策定を進めてきました。今回の改革では、財政構造を見直すとともに、

指定管理者制度の活用など民間活力の導入、職員数の削減などを行い、行政コストの徹底的な削減を目指したものであります。また、適正な受益者負担の観点から、使用料・手数料などの見直しを行い、さらに費用対効果を見極めながら、事業等の廃止・縮小などの検討や、補助金、負担金、各種行政サービスについても見直しを行っています。そして、市民の皆様にもご理解を賜る部分もありますので、市民の皆様との協力が得られる改革とするため、計画の策定段階から積極的な情報公開に努め、パブリック・コメント手続を行ってまいりました。そして3月に、行財政改革大綱及び実施計画を策定しましたので、今後とも不転換の決意で改革を行っていきます。

総合計画の基本計画については、総合計画策定委員会や総合計画審議会での検討を行い、また、パブリック・コメントによって市民の皆様の見解を入れながら作成しました。今後は、概要版の全戸配布やホームページに掲載するなど、広く市民の皆様へ周知していきます。

入札については、2,000万円以上の工事で一般競争入札を実施しているほか、すべての入札案件の落札業者名、落札額、予定価格、受注業者の総受注金額を公表し、入札の公平性・透明性の確保に努めています。また、19年度後半には、電子入札制度の導入を予定しており、さらなる公平性と透明性、そして競争性が確保されることを期待しています。電子入札制度は、入札参加業者が役所に足を運ばず会社のパソコンで入札を行うシステムで、入札参加業者どうしが顔を合わ

せる機会が少なくなることから、さらに競争性が確保されることを期待しています。まずは一般競争入札の大規模工事から適用し、中規模・小規模工事へと段階的に拡大し、併せて設計書等の閲覧もできるようにしたいと考えています。

本市にとって、常に市民の行政に対する要望にこたえ続けていくためには、職員能力の向上（人材育成）が必要不可欠であるため、昨年、「人材育成基本方針」を策定しました。人材育成基本計画の大きな要素として人事評価制度と職員研修制度がありますが、これらの制度を充実させることにより、職員の人格や識見を高め、勤務能率の向上を図り、全体の奉仕者として市民に信頼される職員の育成に努めていきます。また、「定員適正化計画」を策定し、数値目標を定め、人材の有効活用を進めながら、事務事業の効率的な遂行のための適正な人員配置に努めていきます。

合併時に組織した行政機構については、本所機能の強化と支所との連携を図るため、指揮命令系統を明確にし、本所の課の統合・新設などにより、事務事業を効率化し、市民サービスの低下とならないよう配慮して見直しを行いました。

19年度は合併2年目ということで、合併効果をさらに市民の皆様へ示していくかなければならないと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

笠間市長
山口伸樹

平成19年度予算

笠間市の予算が決まりました。一般会計・特別会計・企業会計を合わせた平成19年度の予算総額は、514億4,932万2千円となっています。予算編成に当たっては、厳しい財政状況の中、行財政改革の推進、事務事業の見直しを行うなど、徹底した歳出の削減に努めました。

■一般会計

一般会計は、市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

平成19年度の一般会計予算は、273億1,000万円となっています。

■歳入

自主財源のうち、市税は92億8,682万3千円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は56億100万円、国庫支出金については30億2,799万1千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見直しのもとに計上していますが、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。

■歳出

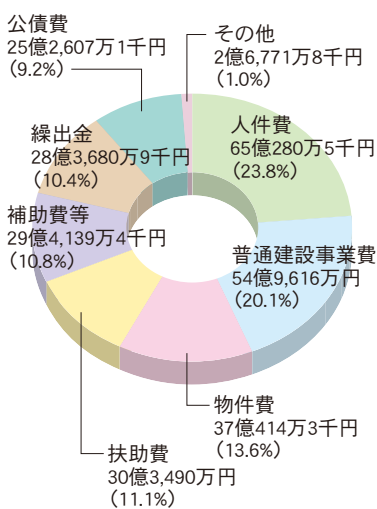
限られた財源に対し歳出では経費節減に努め、各種施策の効果的な予算配分を行いました。

民生費には、高齢者への福祉対策、障害者の入所・通所等の支援費、児童手当、乳幼児や重度心身障害者等の医療扶助、生活保護及び災害関係の経費として66億1,000万2千円を計上しました。

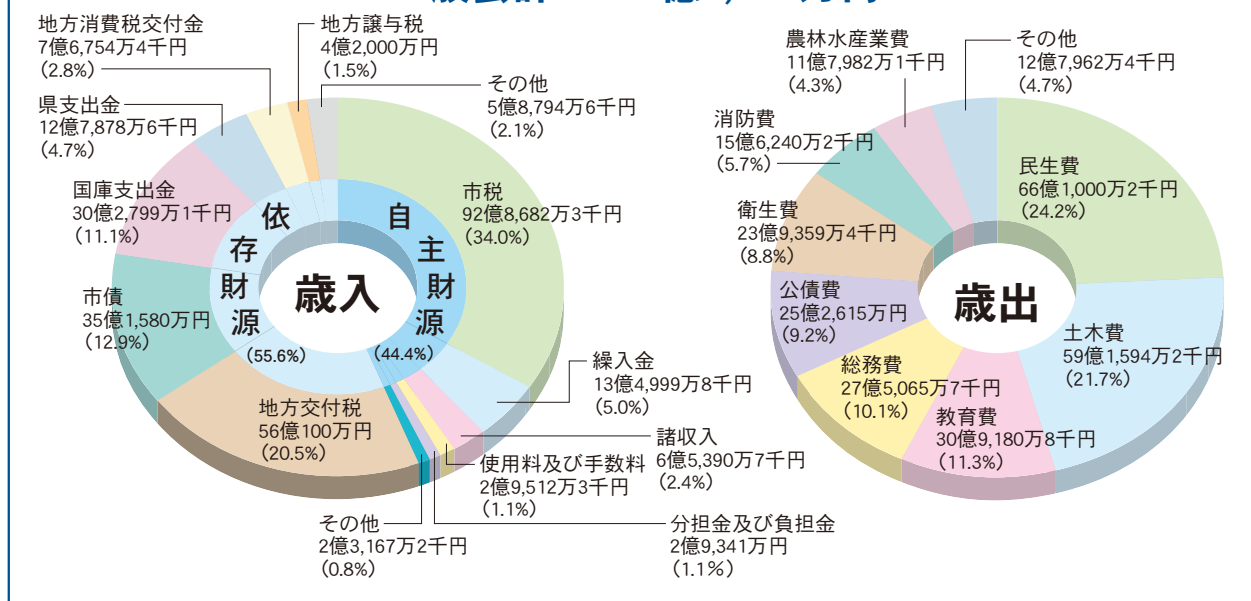
土木費には、生活の基盤である道路の改良工事や、公共下水道事業への繰出、友部駅・岩間駅周辺整備事業費など59億1,594万2千円を計上しました。

教育費には、小中学校、幼稚園の整備・管理費や生涯学習・公民館・図書館運営などの社会教育費、体育振興・給食センター運営などの保健体育費などとして30億9,180万8千円を計上しました。

歳出予算性質別内訳



一般会計 273億1,000万円



総務費

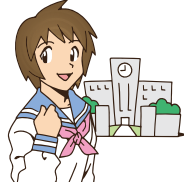
税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など



33,708円

教育費

各小中学校や公民館・図書館の運営費など



37,888円

土木費

市道の整備・補修や公共下水道の操出金など



72,497円

民生費

高齢者・障害者福祉対策や医療福祉費など



81,002円

市民一人当たりに使われるお金

※3月1日現在の人口(住民基本台帳)81,603人で算出

合計
334,669円

その他

議会費や商工費など



15,681円

農林水産業費

国・県事業の負担金や農業振興補助金など



14,458円

消防費

消防団や防災施設整備費など



19,146円

衛生費

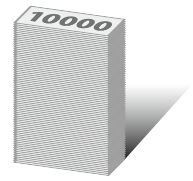
予防接種や各種健診、ごみ処理事業など



29,332円

公債費

市債の元金・利子の返済



30,957円

■特別会計

区分	予算額
国民健康保険	76億4,800万円
老人保健	59億5,100万円
介護保険	40億2,000万円
介護サービス	1,537万8千円
公共下水道事業	28億195万1千円
農業集落排水事業	4億7,880万2千円
特別会計合計	209億1,513万1千円

特別会計は、国民健康保険や介護保険、農業集落排水事業などの特定事業を行う場合、それぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。

企業会計は、事業から得る収益を主な財源として、運営していく会計のことです。本市では、水道事業と病院事業の2つがあります。

■企業会計

区分	区分	予算額	
病院事業	収益的支出	5億2,779万1千円	
	資本的支出	2,019万7千円	
	計	5億4,798万8千円	
水道事業	笠間水道	収益的支出	8億1,293万5千円
		資本的支出	2億1,449万4千円
		計	10億2,742万9千円
	友部水道	収益的支出	7億256万2千円
		資本的支出	5億122万3千円
		計	12億378万5千円
岩間水道	収益的支出	3億5,282万5千円	
	資本的支出	5,605万4千円	
	計	4億887万9千円	
工業用水道	収益的支出	3,611万円	
	計	3,611万円	
企業会計合計		32億2,419万1千円	

一般会計 273億1,000万円

特別会計 209億1,513万1千円

企業会計 32億2,419万1千円

予算総額 514億4,932万2千円

平成19年度笠間市人事 (部課長級)

市長公室長	永井 久	福祉部参事兼社会福祉課長	岡野正三	教育委員会教育次長	加藤法男
秘書課長	深澤 梯二	子ども福祉課長	大月英明	学務課長	長谷川輝男
職員課長	菅井 信	高齡福祉課長	中村一男	指導室長	高橋一夫
企画政策課長	藤枝政弘	笠間支所福祉課長	角田邦夫	生涯学習課長	小坂 浩
情報政策課長	上野憲一	岩間支所福祉課長	菅谷光男	副参事兼笠間図書館長	郡司 弘
行革推進課長	高野幸洋	総務部長	塩田満夫	副参事兼笠間図書館長	綿引孝一
総務課長	仲村新一郎	総務課長	光又千尋	入部トツ振興課長	前嶋晃司
参事兼笠間支所長兼地域	光又千尋	保健衛生部長	仲村 洋	会計管理者兼会計課長	成田 均
参事兼岩間支所長兼地域	横田文夫	健康増進課長	川井健一	議会事務局次長	鈴木健二
岩間支所地域総務課副参事	矢口雄一	市立病院院長	石塚恒夫	議会事務局次長	中田 明
財政課長	大和田俊郎	市立病院事務局長	中村章一	監査委員事務局次長(兼公平委員会事務局次長)	西連寺洋人
管財課長	柏原 博	産業経済部長	青木 繁	農業委員会事務局次長	町田誠一
納税課長	成田 旬	農政課長	山口忠栄	環境保全課副参事(水戸・笠間環境組合)	打越正男
市民生活部長	野口直人	農政課副参事	藤田幸孝	市民課副参事(笠間広域事務組合)	高安行男
市民活動課参事	藤枝 勉	農村整備課長	西山政次	消防長	吉井勝蔵
市民課長	小松崎栄一	農工観光課長	岡井俊博	消防次長兼警防課長	秋山丈志
環境保全課長	鶴田 開	都市建設部長	小松崎登	予防課長	杉山 豊
笠間支所市民窓口課長	郡司一美	都市建設課長	大石直人	通信指令課長	川俣義男
岩間支所市民窓口課長	小滝徳治	道路整備課長	橋本雅晴	消防次長兼笠間消防署長	谷田部清水
笠間支所生活課長	井口 清	都市計画課長	塙 栄	友部消防署長	植木敏夫
笠間支所生活課副参事	高橋信一	岩間支所道路整備課長	松江和男	岩間消防署長	大津英一
岩間支所生活課長	小松崎則男	上下水道部長	飯田 満	総務課長	秋山丈志
福祉部長兼福祉事務所長	保坂悦男	水道課長	早乙女正利	予防課長	石塚憲夫
		下水道課長	持丸正美	消防次長兼笠間消防署長	川俣義男
			伊勢山正	友部消防署長	植木敏夫
				岩間消防署長	大津英一

こんにちは市長室です



山口市長

「何より健康が一番」

「山口さん、すぐに入院し治療した方がいいですよ」。1月の中旬、体の不調を感じて病院に行き、診察の結果先生から出た言葉です。それから約3週間糖尿病の治療のため入院し、2月の中旬に職務に復帰しました。約1か月間市民の皆さんにはご心配をおかけし、市長として健康管理が行き届かず、ご迷惑をかけ反省しております。

病院では、病魔と闘い治療に専念しご苦勞をされている患者さんが大勢いました。頑張っている姿に私自身励まされ、元氣なときには全く気にしなかった健康の大切さを痛感しました。また、医師や看護師さんの一言や笑顔が心を和ませてくれ、大きな励みになりました。行政も同じであり、常に市民と接する中、言葉の大切さや心を込めて対応していくことの重要性を入院生活の中で強く感じました。

これから、自己管理に努め健康で仕事に励むことが市長としての責務であります。私にとって今回の入院は、健康のありがたさや多くのことを学び考えることができ、貴重な体験でした。皆さんも健康第一でお過ごしください。



青年海外協力隊としてポリビアに出發する近藤 桂くん(笠間市出身)と

笠間市長

山口伸樹

情報カレンダー

5月

MAY

日付	行 事	健診・予防接種など
1 火	笠間つつじまつり(4/14~5/13)笠間つつじ公園 (商工観光課 内線517) ひまつり 陶炎祭(4/29~5/5)笠間芸術の森公園イベント広場 (笠間焼協同組合 ☎0296-73-0058) 匠工房・笠間フェア(4/29~5/5)県工業技術セン ター窯業指導所(窯業指導所 ☎0296-72-0316) いこいの家「はなさか」休館日	BCG (岩保) 受付13:10~13:20
2 水	笠間骨董我楽多市(5/2~5/5) 笠間稻荷神社前笹日酒造裏駐車場 (観光協会 ☎0296-72-9222) 子育て広場 (くる保) 9:00~12:00	
3 木 (憲法記念日)	大地の宴かさま春市(5/3・4) 大町公園通り駐車場(実行委員会 ☎0296-72-0284)	
4 金 (みどりの日)	古典文学講座「『日本書紀』を読む」(友図) 14:00~15:30	
5 土 (こどもの日)		
6 日	おはなし会 (友図) 14:00~14:30 4~6歳のおはなし会 (笠図) 14:00~14:30	
7 月	いこいの家「はなさか」休館日 子育て交流広場“ぼっかぼか” (友保) 13:00~15:00 ふれあい広場 (いな保) 9:30~11:30	
8 火	いこいの家「はなさか」休館日	子宮・乳がん検診 (友保) 受付12:30~13:00 1才児相談 (友保) 受付9:00~10:00 ポリオ (岩保) 受付13:30~14:10
9 水	いこいの家「はなさか」休館日 行政相談 (笠保) 13:00~16:00(秘書課 内線224) 子育て広場 (くる保) 9:00~12:00	子宮・乳がん検診 (友保) 受付12:30~13:00 ポリオ (笠保) 受付13:00~13:30
10 木	子育て交流広場“ぼっかぼか” (友保) 13:00~15:00	3~4か月児相談 (友保) 受付9:00~10:00
11 金	ふれあい広場 (いな保) 9:30~11:30	ポリオ (友保) 受付13:00~13:20 1才児相談 (笠保) 受付9:50~10:00
12 土	おはなしのとびら (岩図) 10:00~10:30	両親学級(ペアコース) (友保) 受付9:30~9:45
13 日	4~6歳のおはなし会 (笠図) 14:00~14:30 天狗の郷バザールdeいわま 岩間駅南広場	総合健診 (笠公) 受付6:30~7:00 8:00~8:30
14 月	いこいの家「はなさか」休館日 子育て交流広場“ぼっかぼか” (友保) 13:00~15:00 ふれあい広場 (いな保) 9:30~11:30	総合健診 (笠公) 受付6:30~7:00 8:00~8:30 ポリオ (笠保) 受付13:00~13:30 マタニティピクス (友保) 受付13:15~13:30
15 火		BCG (友保) 受付13:00~13:20
16 水	子育て広場 (くる保) 9:00~12:00	
17 木	子育て交流広場“ぼっかぼか” (友保) 13:00~15:00 子育てサロン 9:00~11:30 みなみ公民館(下市毛) (更生保護女性会 甲斐邦子 ☎0296-72-1477)	3~4か月児相談 (笠保) 受付9:45~10:00 両親学級(2コース) (友保) 受付9:30~9:45

電話番号一覧

〔笠岡〕笠岡図書館……………72-5046	〔いな保〕いなだ保育所……………74-2304
〔友部〕友部図書館……………78-1200	〔とも保〕ともべ保育所……………77-6105
〔岩間〕岩間図書館……………45-2082	〔病〕笠岡市立病院……………77-0034
〔笠保〕笠岡保健センター……………72-7711	〔は〕いこいの家はなさか……………77-5110
〔友保〕友部保健センター……………77-9145	〔笠公〕笠岡公民館……………72-2100
〔岩保〕岩間保健センター……………45-7888	〔友公〕友部公民館……………77-7533
〔てら保〕てらざき保育所……………72-0254	〔岩公〕岩間公民館……………45-2080
〔くる保〕くるす保育所……………72-0563	〔岩海〕岩間海洋センター……………45-7085

- 笠岡・友部地区から岩間地区の施設への問合せは、(0299)をつけてください。
- 岩間地区から笠岡・友部地区の施設への問合せは、(0296)をつけてください。

体育行事はスポーツ振興課に問合せください。☎0296-72-9330

日付	行 事	健診・予防接種など
18 金	0～3歳のおはなし会〔笠岡〕11:00～11:20 子育て交流広場“てんとう虫”10:00～11:30 ふれあい広場〔いな保〕9:30～11:30	BCG〔笠保〕受付13:00～13:30 3才児健康診査〔友保〕受付13:00～13:20
19 土	おはなし会〔友部〕14:00～14:30 ビデオ上映会〔笠岡〕14:00～	
20 日	名曲コンサート〔友部〕13:30～15:30 4～6歳のおはなし会〔笠岡〕14:00～14:30	
21 月	いこいの家「はなさか」休館日 子育て交流広場“ぼっかぼか”〔友保〕13:00～15:00 ふれあい広場〔いな保〕9:30～11:30	総合健診〔友保〕受付6:30～10:00 2歳児歯科健診〔笠保〕受付13:00～13:10
22 火		3才児健康診査〔岩保〕受付13:00～13:20
23 水	行政相談〔友公〕13:30～16:00(秘書課 内線224) 子育て広場〔くる保〕9:00～12:00	ポリオ〔笠保〕受付13:00～13:30 ポリオ〔友保〕受付13:00～13:20
24 木	子育て交流広場“ぼっかぼか”〔友保〕13:00～15:00	
25 金	ふれあい広場〔いな保〕9:30～11:30	総合健診〔岩保〕受付6:30～8:30 BCG〔友保〕受付13:00～13:20
26 土		子宮・乳がん検診〔笠保〕受付正午～12:20 総合健診〔岩保〕受付6:30～8:30
27 日	みんなおいでよ〔友部〕10:30～ 名作映画会〔友部〕14:00～ 4～6歳のおはなし会〔笠岡〕14:00～14:30	
28 月	いこいの家「はなさか」休館日 子育て交流広場“ぼっかぼか”〔友保〕13:00～15:00 ふれあい広場〔いな保〕9:30～11:30	ポリオ〔笠保〕受付13:00～13:30
29 火		ポリオ〔岩保〕受付13:30～14:10
30 水	子育て広場〔くる保〕9:00～12:00	ポリオ〔友保〕受付13:00～13:20
31 木		胃がん・大腸がん・腹部超音波検診〔笠保〕受付6:30～10:00

＋5月の休日緊急医(9:00～17:00)

日付	曜日	病院名	電話番号	日付	曜日	病院名	電話番号
3	木	埴医院	0296-77-0072	13	日	てらだ内科消化器科	0296-70-5500
		佐藤医院	0296-72-0032			関外科整形外科医院	0296-72-1382
4	金	市立病院	0296-77-0034	20	日	高瀬医院	0299-45-2140
		下田整形外科	0296-73-0858			笠岡耳鼻咽喉科	0296-73-0111
5	土	菅谷病院	0299-45-2172	27	日	わたなべ整形外科	0296-70-5577
		磯医院	0296-74-4790			いけうち医院	0296-72-1105
6	日	あさひクリニック	0296-78-5011				
		石本病院	0296-72-4051				



医師の都合により、変更することがあります。確認の上、診療を受けてください。



市民の皆さんの活動を支援します。

市の公用車を貸出しします

市では「市民協働のまちづくり」を進める一環として、市民団体などの公益活動を支援するため、4月から市が所有する公用車を公務に支障のない範囲で貸出しします。

◆貸出し対象車両

交通安全指導車(青色防犯パトロール車)4台、軽トラック3台、トラック(2ト)1台、ワゴン車2台

○交通安全指導車…平日、土・日曜日、祝日
午前8時30分～午後8時

岩間支所所有車は、平日は午後5時30分からとなります。

○軽トラック・トラック・ワゴン車…土・日曜日のみ
午前8時30分～午後5時30分

◆貸出し対象団体…市内で活動する公益的な団体

防犯パトロール団体、交通安全活動団体、自治会、町内会、PTA、子ども会育成会、スポーツ少年団、社協登録ボランティア団体、公益活動団体(市民活動課に事前届出が必要)など

◆貸出し対象活動…市内の公益活動

市内の防犯パトロール、市内の道路・河川・公園・学校など公共施設などの美化・清掃活動、リサイクル活動、市内で開催するスポーツ大会・イベントなどの備品運搬など

◆使用料

燃料代として一律【4時間未満…500円】
【4時間以上…1,000円】

◆申請方法

使用する1か月前～5日前までに申請書兼誓約書(運転免許証の写し)を、本所市民活動課・支所生活課に提出してください。

※市の行事などにより、貸出しできないことがあります。

市民活動に助成します

新市の市民参画を推進するとともに、市民と行政がそれぞれの役割を分担しながら「協働のまちづくり」に取り組むため、市民活動経費に対する助成をします。

◆助成対象団体…市内で活動する公益的な団体

活動分野・運営体制を問わず、団体の規約などが整備され、構成員が5人以上で構成する団体。

※営利活動を目的とする団体および政治団体、宗教団体は対象外。

◆対象事業

(1)新規事業…団体が新たな取り組みを行うための事業

(2)連携統合事業…団体間の連携・共同また

は統合により、事業拡大を図るための事業
(3)広報事業…先進的な事業で、その趣旨を広く周知させるための事業

◆助成金

対象事業の2分の1以内で、10万円を限度(予算の範囲内)とします。

【第1回公募期限】

5月15日(火)までに希望調書を市民活動課に提出してください。

問合せ 本所市民活動課(内線134)・笠間支所生活課(72121)・岩間支所生活課(73162)

おめでとろございます

健康づくり推進事業功労者表彰 (主催:茨城県ほか)

長年にわたり食生活改善推進員協議会役員として、食生活改善に尽力し、健康づくりの推進に多大な貢献をしたことにより表彰されました。



久保田 満子さん(安居)



茨城県市長会自治功労者表彰 (主催:茨城県市長会)

長年にわたりまちづくりなどに貢献をした2人が表彰されました。



川又 博之さん(八雲)

「友部文化協会」の会長として、また、「クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま」友の会会長として、市の文化振興やまちづくりに尽力されたことにより表彰されました。



船橋 慶子さん(稲田)

男女共同参画推進を図るために設立された「かさまエコープラザ」の初代会長として、また、「ボランティア連絡協議会」の笠間地区会長として、男女共同参画や福祉事業に尽力されたことにより表彰されました。

全国・国際競技等優勝者等表彰 (主催:茨城県・茨城県教育委員会)

全国的なスポーツ大会などで功績のあった方が表彰されました。

立川 将之(石岡一高・1年)

全国男子中学生ウェイトリフティング大会 優勝
鶴田 一樹(平町)

国民体育大会(馬術) 優勝
加藤 浩平(稲田中・3年)

ジュニアオリンピックカップ夏季水泳大会 優勝
南中学校音楽部

全日本リコーダーコンテスト(四重奏) 金賞
黒澤 美穂(水城高・1年)

全国こども陶芸展 文部科学大臣奨励賞

茨城県教育委員会教育長表彰 (主催:茨城県教育委員会)

全国的なスポーツ大会などで功績のあった方が表彰されました。

篠田 聡子(鯉淵)

JAWA全日本アームレスリング大会 準優勝
千葉 萌(大田町)

全国高等学校定時制通信制剣道大会 準優勝
木暮 裕也(友部中・1年)

全日本小学生相撲優勝大会 準優勝
加藤 浩平(稲田中・3年)

全国中学校体育大会(水泳) 第3位
加藤 由浩(岩瀬日大高・3年)

全国高等学校総合体育大会(水泳) 第3位

日本消防協会定例表彰 (主催:日本消防協会)

長年にわたり消防活動に尽力された功績により表彰されました。

岩間地区消防団 全国優良消防団表彰

海老澤 勝(友部地区消防団団長) 勤続章

菅谷 賢一(岩間地区消防団副団長) 功績章

友部小マーチングバンドが3年連続金賞

第34回マーチングバンド・バトントワリング全国大会で、友部小学校マーチングバンドが見事3年連続金賞を受賞しました。同バンドは、4～6年生の約70人の児童で構成され、放課後や大会が近くなると土・日曜日も練習に励んできました。3月4日、3年連続金賞受賞をお祝いして「全国大会金賞受賞コンサート」が笠間市民体育館で行われ、保護者や学校関係者などが見守る中、日本一の演技を披露しました。



日本武道館で堂々と演奏・演技するマーチングバンド

ま ち の 話 題

第7代「かさま観光大使」が 決まりました



新しく選ばれた中井川真理子さん(左)と武林以津美さん



昨年から継続の石川恵実さん(左)と萩谷彩矢香さん

市内の観光イベントや県内外でのキャンペーンを行う、第7代「かさま観光大使」の4人が決まりました。同大使には、訪れる観光客へのサービスや案内など、今年1年間の活躍を期待します。

桜の木を植樹〔2/24〕

このたび、市総合公園および南山スポーツ公園に、約130本の桜の木が植樹されました。この活動は、桜の植樹や緑化普及活動などを目的に活動をしている「笠間さくらの会」の協力により行われたもの。桜の木は、日本さくらの会から寄贈されたもので、当日は、市内幼稚園児やスポーツ少年団の子どもたちといっしょに、一本一本ていねいに桜の木を植えました。今後、子どもたちとともに大きく育った桜の木が美しい花を咲かせてくれるでしょう。



桜の木に自分の名前が入った札を付ける参加者

友部駅・笠間駅が より便利に なりました



友部駅

整備を進めてきた友部駅の南北自由通路・橋上駅舎が完成し、3月4日、供用開始式典が行われました。式典には、橋本昌茨城県知事をはじめ国会議員、県議会議員など多くの関係者が出席し、大原小学校金管バンドや笠間市にゆかりのある坂本九さんの長女大島花子さんもお祝いに駆けつけ、盛大に行われました。電車の発車メロディーには、坂本九さんの「上を向いて歩こう」「明日があるさ」などが使われています。



「父が生きていたらきっと喜んだでしょう」と語った大島花子さん



駅全景



駅北口と南口をつなぐ自由通路

笠間駅



多機能トイレ



エレベーター

笠間駅にエレベーター2基、多機能トイレ、障害者用スロープが完成しました。小さな子どもからお年寄りまで誰もが使いやすい駅に変わりました。また、トイレには、笠間焼やみかげ石などの地場産材が使われています。

笠間市行財政改革大綱の答申書が手渡されました

3月7日、今後5年間の行財政改革の指針となる笠間市行財政改革大綱(案)および大綱に基づき実施する内容・スケジュールを示した実施計画(案)について、笠間市行政改革推進委員会から山口市長に答申書が手渡されました。

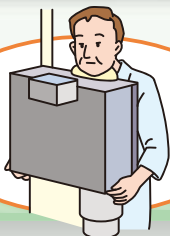
これを受け、市では、笠間市行財政改革大綱および実施計画を策定しました。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。

問合せ 行革推進課(内線571)



答申書を山口市長に手渡す安部会長(中央)と佐藤副会長(左)



結核検診が変わります

市では19歳以上の方に毎年結核検診(胸部レントゲン)を実施してきました。しかし、結核が広くまん延していたころは効果がありましたが、結核にかかる方が当時と比べれば極めて少なくなった現在、結核検診で患者を発見する率は極端に低下しています。(平成12～16年度の検診で2人)

また、結核患者の約50%が70歳以上の高齢者となっていることから、結核予防法が改正され、結核検診の対象者が65歳以上の方となりました。

《改正後》

- ◇18～39歳の胸部レントゲンは中止
- ◇40歳以上は肺がん検診として胸部レントゲンを実施
- ◇65歳以上は結核・肺がん検診として胸部レントゲンを実施

こんなときは、結核を疑いましょう

- 2週間以上せきが続く(乾いたせきが特徴)
- たんや微熱などかぜの症状が長引く



食生活改善推進員が紹介する

かさま食彩

食物繊維豊富なおからコロッケを食べて、体の調子を整えましょう。具材に味がしっかりついているので、お弁当のおかずにもいいですよ！



栄養素量(1人分)

エネルギー…493kcal たんぱく質…13.7g 脂質…28g 塩分…2g

おからコロッケ

材料(4人分)

おから ……100g 豚挽き肉…50g
 玉ねぎ…70g にんじん…40g
 きのこと類…50g 青菜…70g
 ジャがいも…80g 卵 ……1個
 小麦粉・パン粉・油…適量

ホワイトソース…60g (バター25g・小麦粉100g・牛乳500ccで500gのソースができます。)
 (調味料)塩・砂糖・しょう油・みりん…小さじ1、こしょう…少々

作り方

- ①青菜はさっとゆで、水にさらし、よく絞って水気を切る。
- ②ジャがいもを湯がいて、水気を切り熱いうちにすりつぶす。
- ③挽き肉をいためる。さらにみじん切りした野菜類を入れ、いためる。
- ④調味料を加え、よくなじませる。
- ⑤おからを入れ、まんべんなく混ぜる。さらにホワイトソース・つぶしたジャがいもを加え、よく混ぜ合わせる。
- ⑥形を整え、小麦粉・卵・パン粉を付けて揚げる。

活動中です

こうみんかん



笠間公民館
友部公民館
岩間公民館

☎0296-72-2100
☎0296-77-7533
☎0299-45-2080

平成19年度公民館講座の受講生を募集中

今年度も、たくさんの講座を用意しました。皆さんの応募をお待ちしています。詳細は、募集チラシをご覧ください。

「コール・ポプリ」が関東大会に出場

コーラスグループの「コール・ポプリ」が、「おかあさんコーラスフェスタいばらき」に参加し、「げんでんマーテル賞」を受賞しました。コール・ポプリは、会員が26人、毎週火曜日に友部公民館の視聴覚室を利用して練習に励んでいます。この受賞で、念願であった関東大会に出場する権利を得ました。今後のご活躍を期待します。



笠間公民館の「ふれあいルーム」で講座開設

笠間公民館の旧図書室を「ふれあいルーム」として無料で貸出しています。通常の会議室としての利用のほか、市民の方が講師となって短期の講座などを開催していただいても結構です。

なお、目的や内容によっては、制限させていただく場合があります。施設の予約方法や詳細については、笠間公民館に相談してください。



皆さんの力作を展示しませんか

友部公民館ロビーの展示ケースやガラスケースに絵画・書道など皆さんの自信作を飾ってみませんか？ 展示期間は1か月間で予約制となります。団体・個人は問いませんが、営利目的の方はお断りします。興味のある方は、友部公民館までご連絡ください。

定期講座の紹介

文学碑散策教室(友部公民館)

県内外の文学碑をめぐる講座です。昨年9月には、市内(大郷戸)にある作詞家高野公男さんの墓参りをしました。当日は、作曲家の船村徹さんも出席し、受講生たちと高野さんの思い出を語っていました。

受講生の声

私たちの回りには、数多くの碑いしが建てられていますが、それが何の碑だかわからず、その存在すら知らないものもあります。今回、南先生のご指導で文学碑を訪ね歩くことができ、大きな発見の喜びを味わいました。先人の碑を後世の人に伝え

ていくのが私たちの務めだと感じました。

園部 昭徳(平町)





◆リユースフェアを開催しました

2月23・24日の2日間、笠間図書館で開催した「リユースフェア」も盛況のうちに終了することができました。リユースフェアは資源の再利用を目的に、市民そして利用者の皆さんに、除籍した雑誌や未受入れの寄贈図書を利用していただくものです。

なお、ご協力いただいた募金、75,760円は、社会福祉協議会を通じて社会福祉に役立てられます。ご協力ありがとうございました。

◆レバノン大使館から本が寄贈されました

2月28日、レバノン大使館から、笠間図書館に約100冊の図書を寄贈いただきました。大使館関係者をはじめ、国際交流協会関係者や山口市長が笠間図書館に訪れました。寄贈された図書は、アラビア語や英語などで書かれた国際色豊かなものです。笠間図書館の館内で見ることができます(貸出不可)。ぜひ、ご覧ください。

◆手づくり絵本教室に参加してみませんか

毎月第2土曜日、友部図書館で「手づくり絵本教室」が始まりました。いろいろな材料を使用して世界で一冊の自分だけの絵本づくりを行っています。親子で、または、おじいちゃんやおばあちゃんといっしょに、皆さんも参加してみませんか。開催日に、友部図書館で受付しています。ぜひ会場にお越しください。

開催日 毎月第2土曜日
時 間 午前9時30分～正午
問合せ 睦読書会 代表 熊谷美喜代さん
☎0296-77-3932



笠間図書館

◆おはなし会

(0～3歳向け 午前11時～11時20分)
5月4日(金) 都合により休みます
5月18日(金) 「わんわんなにしてるの」ほか

◆おはなし会

(4～6歳向け 午後2時～2時30分)
5月6日(日) 「ふしぎなたけのこ」ほか
5月13日(日) 「ベーコンわすれちゃだめよ!」ほか
5月20日(日) 「にんげんごっこ」ほか
5月27日(日) 「あてっこどうぶつえん」ほか

◆ビデオ映画上映会(午後2時～)

5月19日(土) 「いつか読書する日」(129分)

友部図書館

◆おはなし会(午後2時～)

5月6日(日) 「なにをたべてきたの」ほか
5月19日(土) 「かたあしのひよこ」ほか

◆名曲コンサート(午後1時30分～)

5月20日(日) ベートーヴェン ヴァイオリンソナタ「春」ほか

◆名作映画会(午後2時～)

4月22日(日) 「アナライズ・ユー」

◆みんなおいでよ(午前10時30分～)

4月22日(日) 紙芝居や大型絵本の読み聞かせなど

◆ギャラリー

4月24日(火)～5月6日(日)
友部押し花クラブ 「押し花展」
5月8日(火)～5月20日(日)
和紙ちぎり絵すずの会 「ちぎり絵展」

岩間図書館

◆おはなしのとびら(午前10時～10時30分)

5月12日(土) 「ピッキーとポッキー」ほか

市民参画のまちづくり

笠間市まちづくり教室 だより

問合せ 市民活動課(内線135) Mail: katsudo@city.kasama.lg.jp

活動報告⑥

「卒論発表会」

「まちづくりって、どんなこと？」そんな疑問に応える発表会「卒論から学ぼう！考えよう！まちづくり～茨城大学卒業論文発表会2007～」を2月10日、笠間ショッピングセンターポレポレで開催しました。茨城大学の学生にまちづくりに関する論文を発表してもらい、その後、学生と市民が活発な意見交換を行いました。学生の発想の中から、新しいまちづくりへのヒントを発見し、まちが活性化することを期待します。この取り組みは、今後も続けていきたいと考えています。

市民からは鋭い質問も数多くありました



市民からは鋭い質問も数多くありました



手づくりの衣装に身を包み発表を行いました

広報ギャラリー

申込み・問合せ

〒309-1792 笠間市中央3-2-1
笠間市役所市長公室秘書課 広報広聴グループ

このコーナーでは、皆さんのお気に入りの作品を紹介させていただきます。絵画・書道・俳句・短歌・写真・イラストなどの作品を募集しています。必ず住所、氏名(ペンネームの場合、本名も併記)を記入し、お送りください。掲載させていただいた人には、薄謝を進呈します。



がんばった桜川大会
直心館



僕んちの庭
田口悠瑚くん
(大田町)



関東大会へ最後の切符

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体等を紹介します。

ひまつり 陶炎祭 実行委員会

代表者 武 伸也(笠間)
設立 昭和57年
会員 219人



役員の皆さん



武 伸也さん(会長)より

陶炎祭も今年で26回目を迎えます。当初は、芸術村で開催され、出店者も50人にも満たなかったようです。現在のような広い会場や200人を超える出店者など、想像もできませんでした。現在の陶炎祭は、作家たちとお客さんの笑い声であふれ、子どもたちの「土面」がお客さんをお迎えしています。これからも楽しさにあふれた笠間を代表する祭りに発展していくことを心から願っています。

多くの人を魅了し続ける 笠間市のビックイベント

陶炎祭は、1年に1回、仲間同士で遊んでみたいという思いから、始まった祭りです。その後、お客さんを楽ませるものに変ぼうしていきます。稲荷神社から御神火を運び、窯の火入れや、土面パレードを行いました。ただの陶器市にならないよう、企画展やコンサート、オークションなどを行い、メッセージ性を大切にしています。昨年からは5月3日の「宵の市」で夜までの営業も開始。夜まつりも充実させて自分たちも楽しみながら、お客さんに楽しんでもらえるよう、努力しています。



会場は多くの焼物ファンで賑わっています。



夜まつりライブが笠間の夜を熱く盛り上げます。



小学生の土面コンクール。個性的な作品が並びます。

第26回 笠間の陶炎祭

日時 4月29日(日)～5月5日(土)
午前9時～午後5時
会場 芸術の森公園イベント広場
たくさんのイベントを企画しています。ぜひ、ご来場ください。

情報コーナー

案内

浄化槽の設置費を補助します

市では、平成19年度中に浄化槽を設置(新設または単独浄化槽からの設置替)する場合に、次のとおり設置費用の一部を補助します。

- **対象地域**▼公共下水道事業認可区域および農業集落排水事業採択区域を除く笠間市全域
- **申込方法**▼浄化槽設置補助希望申込書に必要事項を記入の上、下水道課に提出してください。
- **申込期限**▼5月31日(木)
- ※申込者多数の場合は、抽選の予定です。
- 下水道課 (内線71131)



公共下水道および農業集落排水使用者の皆さんへ

次のような場合には、下水道課・農業集落排水推進室へ届出してください。

- 井戸水を使用または、井戸水と水道を併用し、使用人数に変更がある場合(使用人数によって料金が変わります)
- 使用している水の種類を変更した場合
- 転居などにより使用を中止する場合
- 転居などにより使用者が変更になる場合
- 下水道課 農業集落排水推進室 (内線71131・7112)

笠間市国民保護計画を策定しました

平成16年9月に施行された武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)に基づき、

武力攻撃や大規模なテロなどから市民の生命・身体・財産を保護し、生活・経済への影響が最小となるよう国や県などと連携・協力し、市民の避難や救援などを的確かつ迅速に実施するための計画を策定しました。計画は、市役所本所総務課で閲覧、または、市のホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

● 本所総務課(内線210)

『まちむら発!情報スタジオ』に笠間市が登場します

NHK茨城県域デジタルテレビ放送「こんにちはいはらきわいわいスタジオ」(午前11時30分〜正午)中のコーナー「まちむら発!情報スタジオ」に笠間市が登場します。4月〜6月の毎週水曜日、市の旬のイベントや魅力などを楽しくお伝えします。ぜひ、ご覧ください。

● 本所秘書課(内線225)

市内春のイベント情報

第26回陶炎祭

笠間焼の窯元・陶芸家による手作りのお祭り。200以上の個性的なお店が軒を連ねます。

● 会期▼4月29日(日)〜5月5日(土) 午前9時〜午後5時

● ※夜まつりライブ5月3日(木)午後7時〜午後9時

● 会場▼笠間芸術の森公園イベント広場

● 笠間焼協同組合 ☎0296(73)0058

工房・笠間フェア

クイズラリーや伝統工芸士の実演、ロケ体験などが行われ、楽しく笠間焼に親しむことができます。

● 会期▼4月29日(日)〜5月5日(土)

大地の宴かさま春市

笠間でとれた農産物や観光物産品を中心に展示販売します。

● 会期▼5月3日(木)〜4日(金) 午前9時〜午後4時

● 会場▼大町公園通り駐車場

● 大地の宴プロジェクト実行委員会(担当:石井) ☎0296(72)0284

笠間骨董我楽多市

古陶磁器、掛軸、置物などを展示販売する約40の骨董古美術店が並びます。

● 会期▼5月2日(水)〜5日(土) 午前9時〜午後5時

● 会場▼笹目酒造裏駐車場

● 笠間観光協会 ☎0296(72)9222

■は申込み先、
■は問合せ先です。

朗読ファンタジックステーションに届ける手紙

社会福祉協議会の読み聞かせ講座の終了発表会です。ぜひ、お越しください。

日時▼5月19日(土)午後2時

会場▼友部社会福祉会館

※入場無料

ファンタジックステーション企画委員代表 市原 裕子

☎0296(77)1600

電気設備安全点検のお知らせ

一般家庭の電気設備は、電気事業法に基づき、4年に一度の安全点検が義務付けられています。

定期調査は、「財団法人関東電気保安協会(国の登録機関)」が東京電力から委託を受けて実施しています。該当する方には、前月の「電気使用量のお知らせ」に記載してお知らせしていますが、調査日の数日前に「電気設備安全点検訪問日のお知らせ」チラシを持参した関東電気保安協会調査員(制服、腕章、写真入り調査員証を着用)が個別に伺いますので、ご協力をお願いいたします。

※類似業者にご注意を！調査の際に費用はいただきません。物品販売もありません。

財団法人関東電気保安協会
茨城事業本部 調査部
☎029(226)3221

となりのまちから

水戸地方広域
市町村圏協議会

水戸市長杯第22回綱引大会参加者募集(水戸市)

気の合った仲間を誘って、綱引大会に参加してみませんか。

日時▼5月20日(日) 午前9時集合

会場▼水戸市青柳公園市民体育館

構成▼1チーム選手8〜10人、監督1人、トレーナー1人(チームの人数が10人以内の場合は、チーム監督、トレーナーの選手兼任可)。試合の出場者は8人。

種別▼①一般男子(8人の合計体重が600kg以下)、②一般女子(8人の合計体重が520kg以下)、③男女混合(男女各4人。8人の合計体重が560kg以下。一般男子、女子との重複出場は可)、④小学生(5・6年生。体重制限なし。男女混合も可。監督、

トレーナーは成人)

参加料▼一般女子・一般男子・男女混合/1チーム3,000円、小学生の部/1チーム1,000円

申込期限▼5月9日(土)

水戸市スポーツ振興協会(水戸市見川町2256)

☎029(243)0111

湘沼自然公園(茨城県)

湘沼のほとりの自然を丸ごとアウトドア施設にし、いろいろな楽しみ方ができる公園です。

利用期間▼4月25日(土)〜10月31日(土)

料金▼オートキャンプ場56区画(1区画/5,000円、テントサイト(最大100張)テント1張/2,000円、タープ1張/1,000円、バーベキュー炉(6炉)1炉/1,500円、バーベキューのみ/1人100円(5歳以上)

※人員割使用料200円(5歳〜15歳100円)が別にかかります。直火は禁止です。

茨城町商工観光課

☎029(292)1111

湘沼自然公園管理事務所
☎029(293)7441



エコフロンティアかさま監視委員会活動報告④

「廃棄物の受入」

搬出業者から処理委託申込みされた廃棄物については、事業団では廃棄物受入基準を満たしているか審査(原則的には現地調査を行う)し、受入可能と認められたものについては契約書を取り交わし廃棄物を受け入れていることを確認した。

■受入基準(抜粋)

《溶融処理》

- ・スプレー缶、ガスボンベなどの高圧容器や火薬類が混入しないこと。
- ・揮発性の薬品類(クロロホルム、アンモニアなど)が混入していないこと。
- ・最大径30cm以下、長さ3m以下のものとする。

《直接埋立》

- ・金属などを含む場合は判定基準以下であること。
- ・油分を含まないこと。(水で油膜が生じないこと)
- ・最大径10cm以下、中空の状態でないもの。



3月28日、渡部 栄一理事長(左)から目録を受け取りました

結城信用金庫様より、支店開設を記念して、大型ブラスマテレビ1台と福祉活動に使用する軽自動車1台を市に寄贈していただきました。大型テレビは市役所本所ロビーに設置します。ご厚志ありがとうございます。

4月の納税

■固定資産税 (1期)

■介護保険料 (1期)

納付期限は
5月1日(火)

テレホンサービス (☎0296-77-9711)

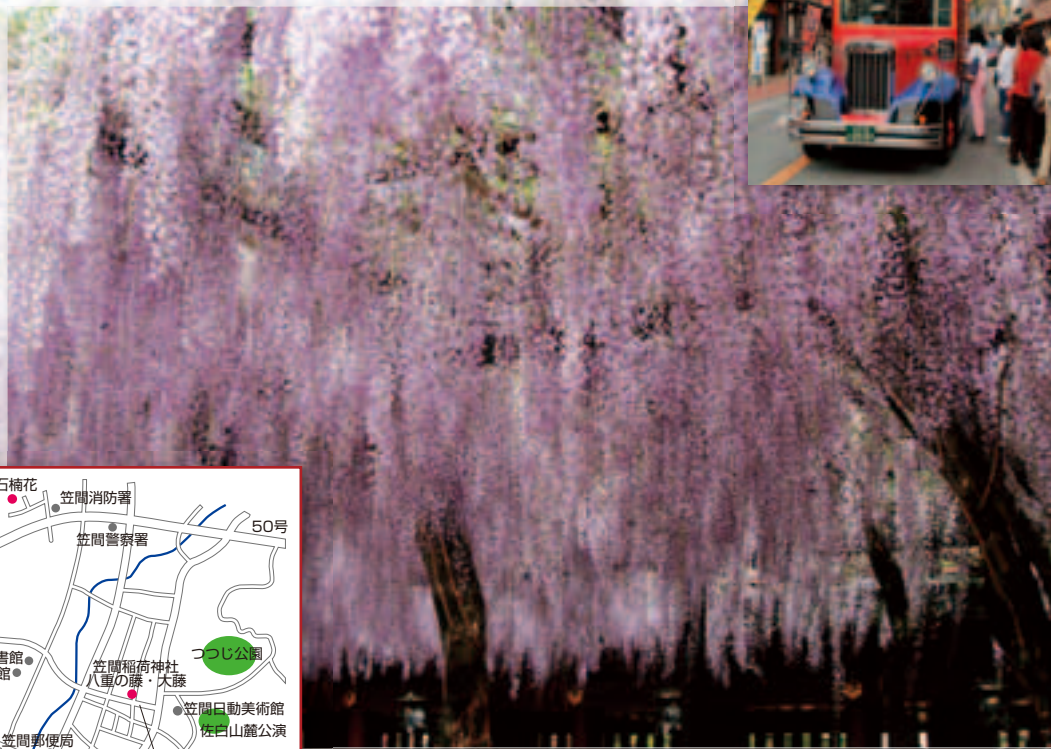
4月11〜20日/17年度友部町福祉作文集から「いろみずあそび」

4月21〜30日/民話「弘法さまの水」

5月1〜10日/社協から「友部町社協29年の歩み」その1

八重の藤・大藤と笠間稲荷門前通り (笠間市笠間)

笠間稲荷門前通りと周遊バス



MAP

まるで紫におう暖簾のれんのよう…

笠間稲荷神社の境内で5月上旬ごろ、珍しい八重咲きの藤と大藤が美しい花を咲かせます。樹齢約400年の古木に、ぶどうのような八重の花房と1mほどもある長く見事な大藤の花房が香りとともに風に揺らぐ風情が楽しめます。

笠間稲荷門前通りには、多くの土産物や食事処など情緒ある建物が軒を連ね、笠間稲荷の歴史とともに歩んできた観光地としての雰囲気を感じ出しています。

うらかな日、関東の小京都とも呼ばれるふるさと笠間を小旅行気分で見学してみませんか。

◆春爛漫 笠間の花便り

第36回笠間つつじまつり／4月14日(土)～5月13日(日) 笠間つつじ公園

笠間稲荷の八重の藤・大藤／5月上旬 笠間稲荷神社境内

鳳台院の石楠花しょうたいいん／5月上旬～下旬 鳳台院

◆問合せ

商工観光課(内線517)

笠間稲荷門前通り商店街協同組合(理事長 笹目宗兵衛商店)

☎0296(72)0021

人口と世帯数 3.1 現在

- 人口 80,786人 (△59)
- 男 39,584人 (△33)
- 女 41,202人 (△26)
- 世帯数 27,209世帯 (+15)

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。問合せは秘書課(内線225)まで。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。
アドレス
<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>

